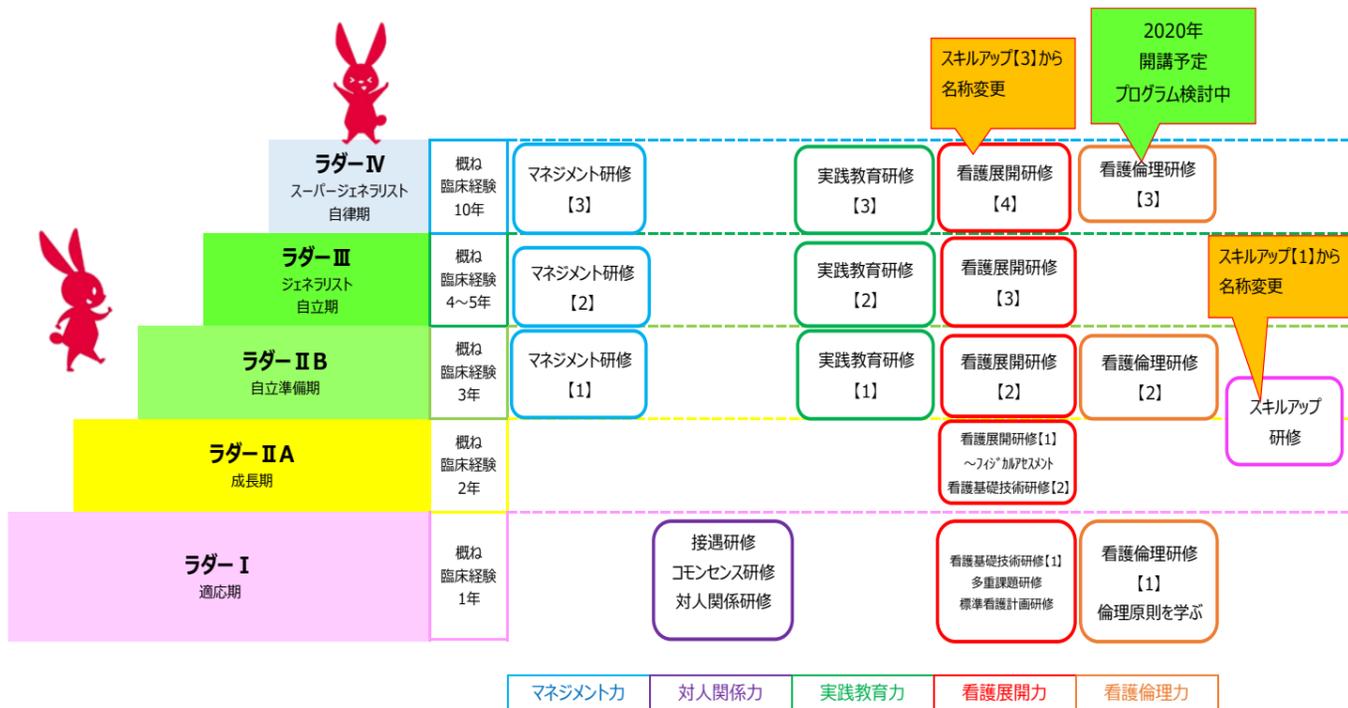


新緑の眩しい季節になりました。今年も各ラダー研修が始まり、多くの皆様が、意欲的に課題達成のために取り組んでいます。

## 1. J-ARISE クリニカルラダー名称変更と次年度開講予定の再周知



令和元年度はラダーⅣ スキルアップ研修【3】が看護展開研修【4】と名称が新たになり、18名が取り組んでいます。そのうち、5名が看護展開研修【3】からの継続者です。看護研究委員会による、看護研究への支援も開始されますので、お気軽にご相談ください。

令和2年度はラダーⅣ 看護倫理研修【3】も開講予定となります。ラダー認定には全項目の受講が必要になりますので、ご自身の進捗状況の確認をしてください。研修の受講時期により、有効期間が切れるものも予測されますので、不明な点がありましたらお気軽にご相談ください。連絡先：看護職キャリア支援センター 安西典子（PHS 6296）メールでも可能です。

## 2. 平成30年度ラダー合格者数

ラダーⅡA  
124名



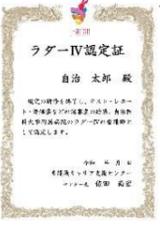
ラダーⅡB  
72名



ラダーⅢ  
62名



ラダーⅣ  
19名



オリジナルボールペン | 名前入り時計

## 3. ラダーⅣ認定者からのメッセージ

★所属部署の看護師長からの紹介文★

Aさんは重症救急部門において、危機的状況にある患者・家族の気持ちに寄り添った看護実践をしています。ラダーⅣ研修では、スタッフの思いにも寄り添い、問題解決にむけて活動してくれました。部署全体が前向きな姿勢で取り組んでいけるように、スタッフへの働きかけをしてくれる頼もしい存在です。今後は、組織全体を俯瞰する力を身につけ、部署のモデルナースとして活躍することを期待しています。

Aさん

マネジメント【3】では、指差し呼称の徹底のための活動、実践教育【3】では、根拠をもった異動者への教育指導の実施を行いました。部署内で課題を見つけても積極的に活動できずにいましたが、研修受講後は、スタッフと共に問題解決に向けて活動できるようになったと感じます。スキルアップ【3】では、「損傷の激しい患者の看取りのケアに対する看護師の思い」について、看護研究に取り組みました。看護研究計画書の作成から発表までの経験は自信になりました。ラダー研修を重ねていく中で、視野が広がり他部署や外部環境なども含めて考える成長ができたと感じます。研修を通して学ぶことは多く、今後は部署内で研修に悩んでいるスタッフに積極的に関わって行きたいです。

Bさんは重症救急部門において、緊張感の高い場面でも柔和な態度で対応し、患者・家族に安心感を与える看護実践をしています。ラダーⅣ研修では、スタッフ指導において、根拠のある考え方ができるように支援してくれました。日々の臨床の中で感じる倫理的ジレンマについても話し合う機会を設け、スタッフの思いを引き出し、倫理的な感性を高める働きかけをしてくれる頼もしい存在です。

Bさん

実践教育研修【3】では、対象者の動機づけに着目し、異動者に対する一次救命処置の手技の獲得を目標とした、教育プログラムを達成することができました。教育に限らず、日々スタッフと関わる中で、動機づけを促すことを意識しています。マネジメント研修【3】では、小集団活動のリーダーシップの取り方に焦点をあて、活動が円滑にできるように支援しました。スキルアップ研修【3】では、派遣先で研究に取り組みましたが、メールでのサポートを受け、計画から実施、論文作成までの一連の流れを学ぶことができました。ラダーⅣの研修は、部署内で中核として活動する際に、いずれも必要な知識なので、是非参加して学びを深めてください。

## 4. 研修風景

新人看護職員  
集合研修



ラダーⅡB  
マネジメント  
【1】研修



次回のJ-ARISE通信は10月頃を予定しています。看護職キャリア支援センター発行